



- ・DON、NIV等：そば、ハトムギ等
- ・パツリン：ぶどう果汁、温州みかん果汁

## 2) 農研機構との連携

- 共同研究等への協力
- 試験法開発への協力

## 3) 情報技術交流

### ○「第2回かび毒分析勉強会」の開催

- ・内容：農研機構食品部門、穀検、FAMICを中心に、製粉会社等の民間で分析を行っている担当者で構成。31年5月開催予定
- ・目的：かび毒を中心とした分析に関する技術情報、最新のトレンドや動向の情報交換を行う。主目的は、それらの情報をもとに分析業務のシーズとニーズをつかむことと担当者レベルでの交流による人のつながり。

### ○「業務成果発表会」の開催

- ・内容：有害物質等分析調査統括チーム、有害物質等分析調査課の分析業務に関する成果を中心とした発表会
- ・目的：職員のプレゼンテーション能力の向上を図る。また、外部にも公開することによりFAMICの技術力と先進性をアピールする。

## 3. 人材育成

### ○総合的目標

農林水産省、農研機構をはじめとして外部機関との情報交換に努め、信頼性の高い分析とその裏付けとなるマネジメントの運営などの能力、経験をベースとして、どこへ出ても臆さないマインドとプレゼン能力を身につけ、それを汚染物質分析に関する見識にまで高めること。

### ○基本的力量として以下を備える

- ・ISO/IEC17025に適合した分析試験マネジメントの理解
- ・トレンドとなっている機器類や分析技術情報の把握
- ・分析試験実務での経験、プレゼンテーションの実践経験
- ・汚染物質に関するCodex、EFSA、FSA等の世界的な動向の把握